

2008 年度

科目名 レクリエーション実習	対象学科・学年 人間人社3回生	担当者 亀井 安子
授業テーマ 様々なレクリエーション指導技術が現場でどのように実践されているかを理解します。		
授業の概要と目標 授業は実習前・後の学内授業と学外実習で構成する。学外実習の目的は理論と実技の学内学習を踏まえ、地域をはじめ企業・学校・社会福祉など様々なコミュニティの現場でレクリエーション指導技術がどのように活用されているのかを理解することである。尚、実習は①社会教育施設等での学外実習。②レクリエーション協会が企画する事業への参加で構成され、①と②の両実習を課題とする。		
評価方法 行事参加と学外実習への参加、積極的な授業への取り組み姿勢で総合評価する。		
テキスト	著者	出版社
参考書 楽しいをつくる やさしいレクリエーション実践	著者 日本レクリエーション協会編	出版社 (財)日本レクリエーション協会
授業スケジュール・内容 1. レクリエーション・インストラクター資格と授業計画の確認 (学内授業) 2. 「学外実習」と「事業参加」の実習計画立案 (学内授業) 3. 「行事参加」の事前指導 (学内授業) 4. レクリエーション協会主催行事「行事参加」 1 (交通費・参加費 実費負担) 5. レクリエーション協会主催行事「行事参加」 2 (交通費・参加費 実費負担) 6. レクリエーション協会主催行事「行事参加」 3 (交通費・参加費 実費負担) 7. 「学外実習」の事前指導 (学内授業) 8. 社会教育施設・企画行事への「学外実習 (1日8時間)」 1 (交通費・参加費 実費負担) 9. 社会教育施設・企画行事への「学外実習 (1日8時間)」 2 (交通費・参加費 実費負担) 10. 社会教育施設・企画行事への「学外実習 (1日8時間)」 3 (交通費・参加費 実費負担) 11. 「行事参加」事後発表 (学内授業) 12. 「学外実習」の事後発表 (学内授業) 13. 全実習終了後全体発表会1 (学内授業) 14. 全実習終了後全体発表会2 (学内授業) 15. 資格申請のための手続き打ち合わせ (学内授業) ※ 「学外実習」は社会教育 (体育) 施設実習やボランティア実習で、市 (町) 民運動会やキャンプ、ウォークラリーなどの運営や企画に参加し、レクリエーションの現場を確認する機会となる。 ※ 「行事参加」は、大阪府レクリエーション協会が企画する課程認定校対象のレクリエーション大会に出席し、他校の学生と交流しながら新しいレクリエーションテクニックを学ぶ機会となる。 ※ レクリエーション・インストラクター資格を取得するために必要な科目です。資格の授与は手続き終了後行います。		